

よこて fun 通信

横手をもっと身近に、もっと楽しむ 交流情報紙



365日、横手を楽しもう!

首都圏で横手市産の旬の味覚や加工品を販売している店舗をご紹介します。
横手はみなさんの身近にあります。ぜひ、ふるさとの味をご家庭でお楽しみください。



←一口飲めばその味に日本酒好きも唖ると評判の天の戸純米吟醸『夏田冬蔵』。JR東日本の豪華寝台列車『TRAIN SUITE 四季島』のラウンジでも採用され、入手困難な限定酒です。都内で買えるのはサカガミのみ!(せとうち旬彩館を除く)

スーパーサカガミ清瀬店

TEL. 042-491-3725

住所 東京都清瀬市元町1-4-23(西武池袋線 清瀬駅北口 徒歩3分)

営業時間 9:00~21:00

『四季を感じる美味しい商品』『健康に良い商品』をテーマに販売を手がけるスーパーマーケット。全国各地から選りすぐりの逸品、地元で愛されている名物などを取り寄せ、地域に身近でありながら高品質な商品を取り扱っている。

【直営店】駒込店/野方店/清瀬店/グランルバ南大沢店/
グランルバ豊洲店/豊島園店

【セレクトショップ】ルバ赤坂店/グッドファームハウス宮原店
【物産館】せとうち旬彩館

横手フェアは毎回大好評
『横手のうまい!』をそろえています

都内でスーパーマーケットを6店舗、セレクトショップほか4店舗を展開しているスーパーサカガミ。中でも清瀬店と駒込店は市町村合併前の平鹿町の時から交流がある。「ふるさと会」の皆さんと一緒に横手産品の販売をしたことがきっかけでした。夏はスイカ、秋は新米、冬はリンゴなど、横手で採れる農産物は、その新鮮さと味の良さともに首都圏の方に受け入れられ、大好評でした。



株式会社サカガミ
常務取締役 管理部部长
KIWA株式会社(サカガミグループ)
代表取締役社長
菅原 厚さん

すがわら あつし
59歳/平鹿地域出身
大学卒業後、株式会社サカガミに入社。バイヤーや商品開発に携わり、店長などを経て現職。



今年も大盛況!!サカガミ横手冬フェア



1月27日(土)、28日(日)に『サカガミ横手冬フェア』が開催されました。当日はリンゴや原木しいたけ、雪の下にんじん、昆布、銘菓など横手産の商品が所狭しと並び、多くのお客さんににぎわいました。

最近はいぶりがっこやお菓子、ラーメンなどの加工品が売れ筋です」と話すのは、平鹿町出身で株式会社サカガミ常務菅原さん。その後、清瀬店や南大沢店、豊洲店などでも横手フェアを開催。現在は夏・秋・冬に年3回開催され、お客さんから「待っていたよ!」という声があるほど人気のフェアに成長。フェアでは生産者が自慢の商品を自らアピールすることで、多くの横手ファン獲得にもつながっている。

フェア開催時以外にも通年で販売している商品も多く、「浅舞婦人漬物研究会の漬物は特に人気がありますね。故郷を思い出すあの懐かしい味わいを、東京にいながら手軽に食べられるのとはとても魅力的。浅舞酒造の天の戸は、当店の日本酒部門で人気第1位です」と話します。

本社のある駒込は桜「ソメイヨシノ」の発祥の地。浅舞酒造とは17年前からプライベートブランドの日本酒「染井櫻」を製造・販売するなど関わりも深い。東京にいながら、横手を味わうことのできるお目当ての一品を求め、訪れてみてはいかがでしょうか。

全国ふる里ふれあいショップ 大山商店街 とれたて村

TEL. 03-3958-9040

住所 東京都板橋区大山町27-9

(東武東上線 大山駅南口 徒歩5分)

営業時間 10:00~19:00

大山商店街と全国各地の農山漁村との交流を目指し2005年にオープン。全国の市町村の魅力発信、販路拡大や交流促進に一役買っている。北は北海道、南は長崎県まで16市町村と直接契約を結んでおり、横手の商品は2011年から販売を開始。お土産品だけでなく、生鮮品や調味料など生活に密着した商品ラインナップで地元客にも人気だ。



副店長 高尾 由美さん

平鹿町にある『にこにこ直売所』直送の旬の野菜や漬物、みそ、手作りのお菓子が買えるのは都内ではココだけ! 米麹や酒粕は入荷後すぐに売り切れることもある大人気商品です。



うちの横手自慢

秋田県でNo.1の生産地でもある平鹿町産『菌床シイタケ』は、一年を通じて店頭で並ぶ定番商品。味の良さと柔らかい食感が好評なんですよ!



食卓に
横手の味を
並べませんか?

旬を
味わうなら
九州屋!

九州屋 ルミネ立川店

TEL. 042-528-6284
住所 東京都立川市曙町2-1-1 ルミネ立川店 B1F
(JR中央線 立川駅北口 徒歩1分)
営業時間 10:00~21:00(土・日曜日・祝日 20:30)

小田急新宿店/小田急町田店/小田急藤沢店/渋谷ヒカリエ店/
松坂屋上野店/東急二子玉川店/東武池袋店/東武船橋店ほか

北海道から九州まで全国に店舗展開をしている国内屈指の青果専門店。青果のプロが厳選したみずみずしい野菜や果物が並び、その多彩な品ぞろえも魅力の一つ。横手市では10年以上前から都内店舗でスイカフェアを開催している。7年前からは横手市役所から九州屋へ派遣されている職員が実際に店頭で産品をPR販売している。

横手市職員として
横手産のおいしさを発信しています。
九州屋の強みは
何と言っても「鮮度の良さ」。
私はトマト売り場の担当として
売り場に立っていますので、
お越しの際は
ぜひお声がけください!



横手市役所(横手の魅力営業課所属)
九州屋スタッフ 片倉 優美さん
(増田地域出身)

うちの横手自慢

3月にはシイタケ、山菜、食用菊が入荷予定。7月末~9月にかけて入荷予定の横手産スイカ『秋田夏丸』シリーズは、都内にもファンが多く毎年大好評です!

お土産・加工品がずらり!



秋田ふるさと館

TEL. 03-3214-2670
住所 東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館1F
(JR有楽町駅中央口 徒歩1分)
営業時間 10:00~19:00

お土産品からハム・ソーセージ、漬物、銘菓、銘酒、調味料など豊富な品ぞろえが自慢。有楽町駅から徒歩1分の立地で観光客やサラリーマンが絶えず訪れている。横手のお土産として大人気なのは『いぶりがっこ』や『ナスの花ずし』。雄物川地域出身の館岡店長が自信を持ってオススメする品ばかりだ。

豆腐カステラや“えご”など
都内ではなかなか買えない
横手の味をそろえています。
秋田県出身者以外の方も
『珍しい』といって
購入される方が多いです!

青森のリンゴに負けず劣らず、
横手産リンゴは糖度が高く
香りも良く、
蜜もしっかり入っていると
お客様に喜ばれています!
店長 松中 博康さん



期間限定ショップ あきた旬紀行 アトレ吉祥寺店

TEL. 050-3575-1310
住所 東京都武蔵野市吉祥寺南町1-1-24
本館1Fききちち4番街
(JR中央線吉祥寺駅西口 徒歩1分)
営業時間 10:00~21:00

今年1月にオープンしたばかりの注目の新店。
『なつかしい、本物、ここにしかない秋田県産品』
をテーマに秋田を代表する特産品だけでなく、
地域できらりと光る品を店長自ら掘り出し、
厳選した約100品が並び。
[直営店]あきた旬紀行 ビーンズ亀有店

うちの横手自慢

テレビ番組で紹介されて以来、
健康志向の方や女性を中心に話
題沸騰の『三平そばの実』『三平
そば茶』を都内で買えるのはコ
コだけ!

醤油代わりに
使える柿酢入り
ポン酢『シバポン』が
大人気です!



代表社員 町田 晃さん
(大仙市出身)

懐かしくて
うんめ~味は
いかが?



いぶりがっこ
新物入荷
しました!

私も大好きな 菫月堂の
『しっとりまんじゅう』は
土日限定販売!
横手の甘酒も
人気商品のひとつです

あきた美彩館

TEL. 03-5447-1010
住所 東京都港区高輪4丁目10-8
ウイング高輪WEST-Ⅲ1F
(JR品川駅高輪口 徒歩2分)
営業時間 11:00~23:00

秋田を五感で感じられる、秋田がまるごとつまったアンテナショップ。お土産品や伝統工芸品、銘酒の販売のほか、『道の駅十文字』から毎日届けられる鮮度抜群の野菜が人気。稲庭うどん、きりたんぼ、いぶりがっこなど秋田名物を堪能できるダイニングスペースも充実。



マネージャー 尾形 静子さん
(横手地域出身)



店長 館岡 きみ子さん
(雄物川地域出身)

大ちゃんファーム
～Salad Garden～
代表
籠谷 大介さん

こもりや だいすけ
33歳/増田地域在住
横手高校卒業後、プロのドラマーをめざし
音楽学校メーザー・ハウス(東京都)に進学。
2007年帰郷し、市内量販店で勤務を経て
5年前に就農。
(Facebook)
<https://facebook.com/D.Farm.Salad.Garden/>



「食味の良さや病気に強い栽培の仕方など、まだまだ研究の余地はあります。取り引き先も増やしていきたいですね」と、挑戦は続く。いずれは通信販売も行う予定だが、「当初から自分のレタスを扱ってくれたお店を大事にしたい」と、現在は市内のスーパーや飲食店への供給を優先しているという。

農業のおもしろさを
次世代につなぐため、挑戦は続く

横手市増田、真人公園近くのリング畑の中に2棟のハウスがある。外は一面雪に覆われた白銀の世界。しかし、中では青々と成長したレタスが出荷の時期を待ちわびていた。

雪害とともに訪れた
予期せぬ就農

レタスの生産、販売をしているのは就農5年目の籠谷大介さん。地元量販店に勤務していた2011年、大介さんに転機が訪れる。早くに父を亡くしていた籠谷家では、母の優子さんが一人で果樹栽培を行っていた。「その年、豪雪で果樹畑が大きな被害を受け、その後の年も雪害が続き、一人で頑張っていた母を支えるために就農する決意をしました」と大介さん。しかし、果樹栽培のみでは生活していけるだけの収量がなかった。「1年目は果樹のみを栽培していました。再び畑を広げようと思っても、リングは木を植えてから収穫まで5年はかかりません。そこで、雪国でも1年を通して収入が見込める作物を模索し始めました。」

水耕栽培と出会い
農業のおもしろさを知る

2013年に水耕栽培の存在を知り、すぐに情報収集を開始。就農2年目には果樹栽培のかたわらレタスの水耕栽培に挑戦した。「最初



夏のハウス内の様子。

は枯れたり根が弱かったり、思うようにいきませんでした。ほとんど収穫できないまま2年が経ち挫折しかけた」と、当時を振り返る。そして昨年、ようやく1年を通して出荷できるまでに成長を遂げた。「農作物が自分の思うように育てば、自分の思うような経営ができる。難しさも多分にあります。同時に、おもしろさにも気付くことができました」と結果の喜びを噛み締める。

現在は、2棟のハウスで2500株のレタスを栽培している。株ごとではなく葉を一枚ずつ摘んで束にしたものを出荷。昨年は約40万枚の収量となったが、需要に追いつかず一時は品薄の状態になったという。「施設内の栽培であっても太陽光によって作物を育てることが重要。品質はこだわり続けたい。ただ、冬の日照不足は作物の生育に遅れを生じさせる。需要が高まるこの時期の収量をどうやって確保するかが今後の課題」とワンステップ上を目指す。

自分が成長することで
農業の可能性を広げたい

施設園芸の可能性を追求している大介さんは、「夢は『こうなりたい』と目標にされる農家になること。自分のように農業に関する教育を全く受けていない者でも、こまめなやれるんだということを就業を目指す若者に示したい!」と、自身を鼓舞するように話してくれた。

「やっと自分のやり方を確立できてきたような気がします。自分を表現できるという意味では、音楽と農業は似ている」と、かつてプロドラマーを目指した頃の熱い思いと重ね合わせる。今でもバンド活動は続けているとのこと。仕事や趣味に全力で向き合う。そんなひたむきな姿の大介さん。自分が目指す農業スタイルの確立に向け奮闘が続く。頑張れ大ちゃん!

おらの元気のもと



全国へ『笑い』を届ける
雄物川発の漫談師

のびやかな声とユーモアあふれる話術で観客を魅了する、漫談師の辻田与五郎さん。選挙の運動員体験を基にした「選挙漫談」や日本初の「血液型漫談」など、県内外へ笑い元気を届けている。

人前で話すのが天職と
漫談師の道へ

高校卒業後に就農し、水稲栽培のほかキノコ栽培を始めるが失敗の連続。「なんとか諦めないでキノコ栽培を10年続けた結果、県の特用林産物経営コンクールで知事賞をいただきました。努力が認められたと喜んだ一方で、『オレの人生、このままキノコ作りで終わっていいのか?』と悩み始めた時期でもありました」と、振り返る。

もともと人前に出るのが大好きだった与五郎さん、幼少期は学芸会、年齢を重ねてからは司会や選挙の運動員などを買って出っていた。昭和54年から血液型と人間関係

に関する講演を始め、2018年1月現在、その回数なんと31都道府県で3000回を超えた。「最も多いときには年に170回の講演を行いました。同じところから3回も依頼が来たときはうれしかったなあ」と笑顔を見せる。

自身の経験や体験を
話に盛り込む

講演は、頭に必勝のハチマキを巻き、選挙の立候補者が必至に支持を求める姿を熱演するネタから始まる。本人は標準語のつもりでしゃべっているが、「秋田弁」のなまりが入り、これがまたうける。自身が選挙カーに乗っていたときの経験が生かされているので、内容に説得力がある。選挙終盤戦の熱気を帯びた陣営の様子には、はたからみれば滑稽な場面も多い。その様子をリアルに、そしてユーモア溢れる語り口で行い会場を沸かせる。途中、候補者さながら握手をして回り、一層の笑いを誘うという展開だ。

最近自身の健康法をネタにした話題でも会場を盛り上げている。夢を叶えるために
今日もネタに磨きをかける

「一つ一つの会場が勝負!」と言う与五郎さんは、会場の大小は問わず、とにかく目の前の方々に笑顔になってもらいたい一心で活動を続けている。「漫談師を始めた頃、『47都道府県すべてをまわる』という夢をかかげました。残り16県、必ずこの夢を叶えます!」と意欲満々に目を輝かせる。全国に『与五郎流』の笑いを届けるため、日々漫談ネタに磨きをかける。「みなさんの幸せのため、ご連絡いただければ、どこへでも参上します。ギャラは要相談(笑)」。『与五郎漫談』で元気の充電いかがでしょうか?



「A型の人、手あげて〜。次、B型の人〜」と、血液型漫談では観客に血液型を問ひかけ、観客同士の人間関係を話に盛り込むという技で引き込む。さらには政治家や芸能人など実名を挙げたネタも得意とし、講演内容のアップグレードに余念がない。

躍進する横手人

株式会社 新鮮組本部
代表取締役
萩原 康三さん

はぎわら こうぞう/64歳/東京都在住(横手地域出身)
横手工業高校卒業後、日発精密工業に勤務。1982年、(株)新鮮組本部を創業。1986年9月、コンビニエンスストア1号店 新鮮組月島店をオープンする。その後、株式会社ローソンとメガフランチャイズ契約締結。2004年からは定食屋「東京厨房」や肉料理専門店「肉キッチンBOICHI(ボイチ)」、本格焼肉店「梨の家」など、高品質な料理をリーズナブルな価格で提供する飲食店経営も展開。

自分の役割を模索し 起業を決意

コンビニエンスストア ローソンのメガフランチャイズとして60店舗以上を運営。店内の厨房で調理した作りたての弁当惣菜を提供するなど、他のコンビニとは一線を画す形態で業績、店舗数ともに成長を続けている(株)新鮮組本部。代表取締役の萩原康三さんは、横手市金沢地区の出身。「子どもの頃、近くの山にはあさんとアケビ取りに行ったのを記憶しています。30分も歩けばいい山があつてね。木の上に隠れ家を作つて遊んだりもしたなあ。そんな活発な幼少期を過ごした萩原少年は、高校卒業後、市の誘致企業の本社工場に就職。船舶用の部品製造部門に配属となる。「担当したのは船舶に使う精密なパネの製造。一日2個も作れば大丈夫だったんだけど、それを一度にたくさんできないか考えたね。なぜって、浮いた時間は遊べるし、時間は有効に使いたかつたからね。どうすれば生産性を上げ効率的な仕事ができるか、そればかり考えていたという。

「失敗もしたけど、完成できた時や、会社から評価してもらえたのちの起業や改善活動へとつながっていた。

そして、自分で工夫をすることでお金を得る。製造業ではなかなかできないこと。物を右から左へ流すことで利益を得られる流通小売の世界に興味を持ち転職。コンビニエンスストアサンチェーンに入社した。コンビニ二十并当、コンビニ十パンなど新たな組み合わせによる新業態の開発プロジェクトメンバーとなった。裁量の範囲が広がるほど小売業というものに魅了されていったという。その後、もっと自分の力を試みたいと退職。「根拠のない自信だけはありました(笑)」と、当時を振り返る。

業界初のメガフランチャイズ本部

1982年、中央区月島地区に待望の弁当店第1号をオープン。社名を「新鮮組本部」とした。新鮮な商品を提供したい、そして来店するお客様の生活に新鮮さを届きたいという想いが込められている。弁当店を経営するなかで徐々に取り扱いの商品が増えていき、1986年、コンビニエンスストア1号店 新鮮組月島店をオープンすると、関東圏でその存在感を示していった。しかし母体のコンビニエンス業界は大手チェーンの膨大なシステム構築力や資金力で敵わない。「勝負あつたと思いましたが」と、悔しさを滲ませた。独立系看板を掲げるコンビニエンスストアとして、その看板をおろすことは苦渋の決断だった。しかし、一方で「自分は新鮮組という看板を増やすことだけが目的になっていたのではないか」と気付かされたという。フランチャイズの本部として、オーナーやその家族、お客様にとってより良いサービスを提供できるなら、独自のシステムを開

発するより看板変更を選ぶことで、早く確実に皆が幸せになれるのではないかと。2008年、株式会社ローソンとメガフランチャイズ契約を締結。そして今、「ライバルはローソン」とし、独自の店内キッチンという取り組みで、他チェーン店からの転換加盟や差別化をはかり事業を拡大している。

「さらに、レストラン事業にもチャレンジしました。現在は焼肉店「梨の家」、フレンチ肉バル「肉キッチンBOICHI」、老広東料理「杏梨チヤイニーズキッチン」、洋食屋「東京厨房」の4業態合計14店舗を運営しています。素材や産地にこだわり、メニュー開発から提供方法まで当社のプロの職人やスタッフが考えています。横手市のシルクポークは豚を探しているときに偶然出会い「これだ」と思いましたね(笑)。

失敗を恐れて 挑戦をやめてはいけない

やりたいことは全部やってみようという萩原社長。今後は、人材育成に重きを置き、社員がより成長できる仕組み作りを尽力していきたいと勇躍する。「これまでも自社の教育プログラムはありましたが、時代が変われば採用される側の人間も変わる。それぞれの世代に合った育て方を模索しているところです」。

また、昨今「挑戦する人」が少なくなってきたと懸念を抱く。「今の日本は失敗することに寛容ではなく、失敗が許されない時代。そんな時代しか見えない若者は失敗を恐れて挑戦することをやめてしまう。若い時にこそ、たくさん失敗してほしい。もちろん挑戦することに年齢は関係ありません。ただ、小さい頃は転んでも大した傷にはならないけれど、私みたいにならないうちから、痛みを重ねてから転ぶと痛いよ。なかなか立ち直れない。若けりや立ち直りも早いから」とエールを送る。

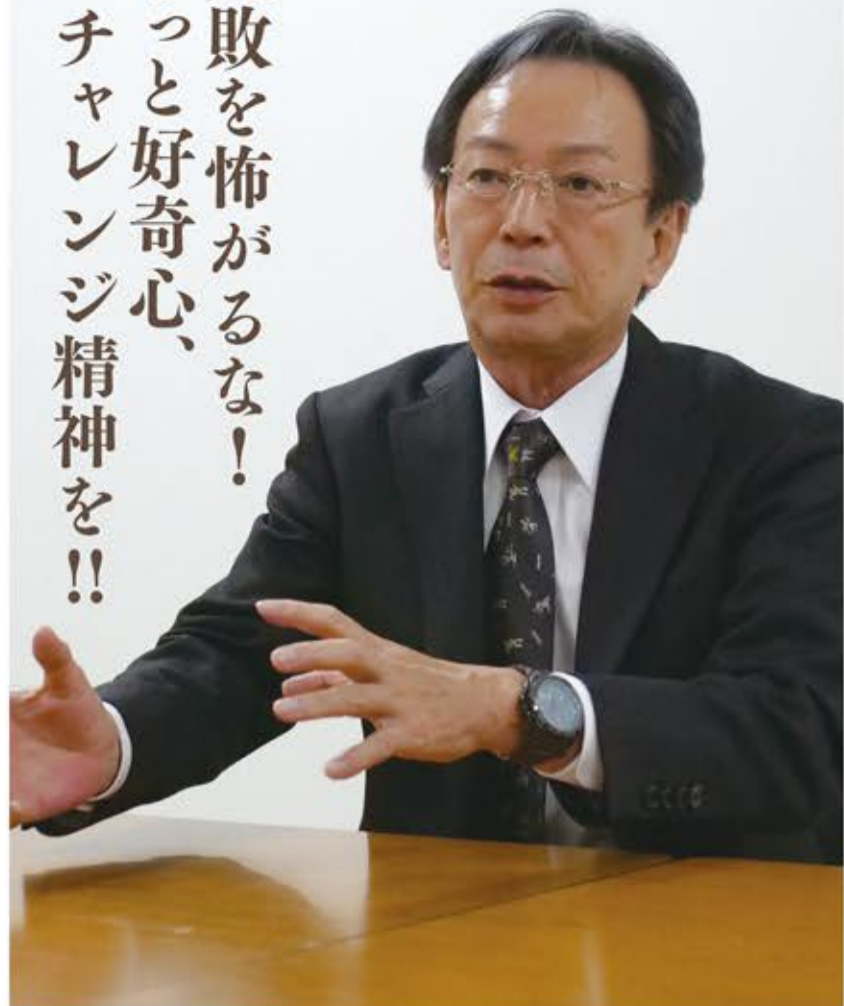
挑戦と失敗を繰り返すなかで得たノウハウが今に生きています。「もっと好奇心、チャレンジ精神を!!」という言葉に透徹した響きを生み出している。経営者として企業の真の価値を追求し、人材育成に向けた挑戦が続く。

横手市平鹿町産のブランド豚「シルクポーク」を使ったメニューを提供しています

臭みのないきめ細やかな肉質が特徴で、口に含めば甘みのある脂とたっぷりのお味が広がる「シルクポーク」。梨の家と肉キッチンBOICHIでは、シルクポークを使った料理を提供している。「以前はやまと豚を使用していましたが、シルクポークに出会い、臭みやクセのないおいしさに惹かれた」という。提供開始か

らその味にファンも多く、「みずみずしくて柔らかい」「ジュシーだけどさっぱりして食べやすい」と評判は上々だ。また、梨の家五反田店では3月末まで「秋田牛フェア」を開催中。A5ランクの秋田牛を落着いた雰囲気の内店でゆったりと味わうことができるので、こちらも見逃さない。

失敗を怖がるな!
もっと好奇心、
チャレンジ精神を!!



▲ポークジンジャーソテー 1,050円
(提供店)梨の家 五反田店/品川インターシティ店/八丁堀店



▲ローストポーク 1,280円
(提供店)肉キッチンBOICHI
品川港南口店/赤坂溜池山王店/八丁堀入船店

首都圏で開催される横手関連イベントの情報

応援お願いします!!横手北中生が横手産品をPR販売!

今年で4回目。横手北中3年生が修学旅行研修の一環で、横手の特産品販売に挑戦します!ぜひ、生徒たちの頑張りに見に来てたんせ。

- 開催日/平成30年5月8日(火)13:30~15:30(予定)
- 会場/ハッピーロード大山商店街イベント広場
ハッピースクエア(東京都板橋区大山町31-4)
墨田区キラキラ橋商店街(東京都墨田区吾妻橋3-4-5)
巣鴨地藏通り商店街(東京都豊島区巣鴨4-22-8)



※写真は昨年の様子です。 ※詳細は今後、市HP等でお知らせいたします。



青春時代がよみがえる
ふじたの焼きそば



喫茶とやきそば ふじた(平鹿町浅舞)
TEL.0182-24-0734

街ものがたり

～あの日、あの味、あの場所をめぐる～

平鹿町編

幼少期、青春時代とそれぞれ過ごした年代は違っても、ふるさとを想えば胸に去来する『懐かしさ』。そんな淡い思い出を、今と重ねて紹介。みなさんの記憶の中にあるふるさととは、どんな色・味・においをしていますか？

優雅に咲き誇る
約50万本のアヤマ



アヤマ

大正6年創業の酒蔵



浅舞酒造株式会社(平鹿町浅舞)
TEL.0182-24-1030



ハリザッコを
見に来てたんせ

榎の木と琵琶沼



長まんじゅう

石川菓子店(平鹿町浅舞)
TEL.0182-24-0729



あやめだんご



ねばりの強さが自慢のとろろ昆布

甘味、漬物など
特産品の宝庫 平鹿町!



浅舞婦人漬物研究会の人気商品 花ずし

絵:高橋一親

樹齢500年以上になる浅舞のケヤキ、通称「榎の木」が今回の街あるきの出発点。その横には、ハリザッコと親しみを込めて呼ばれるトゲウオが生息し、湧き水を源としている琵琶沼がある。

琵琶沼から目と鼻の先にある浅舞酒造。蔵内には仕込み水があり、小学生の頃、夏の暑い日には「水飲みまへでくれ」と寄っては喉を潤してたっけ。酒の味をおぼえた今は、天の戸のとりこ。浅舞っ子は、子どもの頃から造り酒屋にお世話になりっぱなしでことかな。

通りを歩いていると、「長まんじゅう」というのぼりが目立つ。大正時代から伝わる浅舞の名物まんじゅうで、その名の通り細長い形が特徴だ。その長まんじゅうを味わいながら浅舞公園を散策。別名「あやめ公園」と呼ばれるほどアヤマ(ハナシヨウブ)が咲き誇り、園内の和洋庭園が訪れる人の心を癒す。毎年6〜7月に開催される「浅舞公園あやめまつり」は、初夏の風物詩。

園内を散策した後はちょっと遅めの昼食へ。町中心部の細い路地を少し入ったところにある、「喫茶とやきそばふじた」に到着。昭和31年創業のこちらは、現オーナー 佐藤れつ子さんが3代目。モダンな作りの店内には、当時インベーダーゲームで遊べるテーブルもあつた。注文したのは、特製横手やきそば。ソースの焼ける香りが店内に広がり空腹も加速。銀皿には「超」ボリューム満点の焼きそばと目玉焼きが2個。思わず「これこれ」と、鈍く光る銀皿に懐かしさを覚える。どのタイミングで卵の黄身を割るか、悩んだら、世代を超えて愛されている同店は、その佇まいと味わい、オーナーの気さくさで、皆の心のふるさとであり続ける。「高校時代に部活の帰りに来てくれた子が、結婚して旦那さんと一緒に食べに来てくれて。うれしかったね」と、れつ子さんは笑顔を見せる。

街並みを散策していると、湧水のごとくコポコポとあふれるノスタルジックな想い。アヤマの咲く頃、懐古的なふるさと探訪をしてみたんせ。

右記QRコードから横手の魅力営業課のYouTubeチャンネルで平鹿地区散策の様子をご覧ください。



アルペンスキー(秋田ゼロックス所属)
向川桜子さんが次の目標へ向けて始動!

よくてfun通信vol.10でご紹介したアルペンスキーヤーの向川桜子さんが昨年12月、平昌オリンピックへの切符をかけ、全日本選手権に出場しました。「皆さんのご声援・ご協力のおかげで、万全の状態での自信を持って大会に挑むことができました。結果は大回転が途中棄権、回転は4位でオリンピック出場は叶いませんでした。得意とする大回転ではスタート直後に板が外れるという減速のないアクシデントが起り、実力を発揮できないまま終わってしまったのが本当に悔しい限りです」と、桜子さん。

応援していただいたみなさんへ、桜子さんからはメッセージをいただきました。「今期は、シーズンはじめから積み上げてきた練習の成果が出始めているのを感じています。現在転戦しているワールドカップの一つ下のカテゴリーに位置付けられているファイーストカップでは既に16戦中8勝し、総合1位で来季のワールドカップ出場権を獲得できる位置にいます。また、世界ランキング31位に相当するポイント6点も獲得出来ました。」

この成績が評価され、1月23日にイタリアで行われたワールドカップに出場するチャンスを得ました。トップとは3.79秒差の39位でしたが、やはりここで戦いたいという想いを改めて実感し、高いモチベーションとなったことは間違いありません。

可能性を感じる日々の中で、スキーでも日常でも感じたことを大切にして今シーズン最後までケガなく戦い、日本代表、アジア代表として、世界で戦える本場に速い選手になります。これからも温かいご声援をどうかよろしくお願いたします。桜子さんの活躍に期待し、今後も皆で応援しましょう!



情報交流、親睦活動などのお知らせ

こちら首都圏ふるさと会

入会のお申し込み等は、各ふるさと会へお気軽にお問い合わせください。

首都圏の
横手人
集まれ～!



首都圏増田会 第32回総会が無事終了！次回総会に向けて準備中です

第32回首都圏増田会の総会が無事終わりました。12月初め、慰労会を兼ね伊豆の網代温泉で研修会を開催し、宴会、カラオケなど大いに盛り上がりました。

また、細野新会長のもと新規会員の加入促進に向け役員を増員するなど、今後の課題について話し合いました。第33回総会・懇親会は11月18日(日)です。



▲写真左、担当の仲居さんと旅館での会話。「私も秋田生まれ(秋田のどこ?)」「横手(横手のどこ?)」「十文字だ(おらー増田だ)」

〈主な活動〉総会(毎年11月)、役員会、ふるさと探訪ツアー、研修会など。

〈年会費〉2,000円 〈入会方法〉事務局にご連絡ください。

■代表/会長 細野芳之助 ■申込・問・事務局/越後英雄 TEL.090-6623-1500

東京かまくら会 9月8日(土)に創立30周年記念総会が開催されます!

今年、東京かまくら会の創立30周年記念の年です。9月8日(土)に千代田区のアルカディア市ヶ谷にて盛大に記念総会を開催する予定です。今年の総会では、横手の送り盆として定着している『横手ばやし(サイサイ囃子)』を披露していただくことになっております。

首都圏在住の旧横手市出身のみなさん、創立30周年を機に、東京かまくら会の総会をのぞいてみませんか?



〈主な活動〉総会(毎年9月)、役員会(年5回程度)ほか、納涼会、忘年会など。

〈年会費〉2,000円 〈入会方法〉事務局にご連絡ください。

■代表/会長 向山五郎 ■申込・問・事務局/木曾進 TEL.047-321-2518

関東地区大森町ふるさと会 総会を7月29日(日)に開催します!

昨年の総会は、大森町が大雨災害に見舞われた直後でした。出席会員からの動議で、災害見舞い募金の実施が決議されました。「こんなにたくさん?」とびっくりする結果に、会員の皆さんのふるさとへの思いを強く感じました。募金結果は、今年の総会で報告いたします。総会は7月29日(日)、上野精養軒で開催します。役員一同、会員の皆さんに少しでも喜んでいただけるよう、準備中です。皆さんお誘い合わせの上お集まりください。待ってま〜。



▲写真左、担当の仲居さんと旅館での会話。「私も秋田生まれ(秋田のどこ?)」「横手(横手のどこ?)」「十文字だ(おらー増田だ)」

〈主な活動〉総会・懇親会(毎年7月)、秋田関連行事参加、役員会など。

〈年会費〉2,000円 〈入会方法〉事務局にご連絡ください。

■代表/会長 佐野章 ■申込・問・事務局/佐野章 TEL.0467-32-1846

東京平鹿町会 故郷との結びつきに幸せを感じながら

1月8日(月)の役員会並びに新年会が本年のスタートとなりました。昨年の活動を振り返るとともに新しい年への期待を込め、本年最初の役員会を新宿にて開催。総会運営の反省、決算報告、本年度事業活動について話し合いました。

また、ふるさととの結びつきに喜びや幸せを感じながら、充実感と心の豊かさにつながる『ふるさと会』でありたいと新年に誓いました。本年の総会は11月11日(日)を予定しています。



〈主な活動〉総会(毎年11月)、交流会、役員会、新年会、忘年会など。

〈年会費〉3,000円 〈入会方法〉事務局にご連絡ください。

■代表/会長 公地晃 ■申込・問・事務局/高橋豊 TEL.090-9825-4636



▲第1回役員会に出席したみなさん。

▶文中で紹介した「首都圏在住秋田人100人の物語」
住秋田人100人の物語
秋田ひえはなの会企画・出版
A5版/1800円+税



▲事務局長 鈴木信公(大沢出身)。雄物川高校のバレーボール応援会場で、会員募集の活動中。

■代表/会長 中村峰生
■申込・問・事務局/鈴木信公
TEL.080-5196-9870

現 役員(会長・監事)は26人、うち女性10人。平成17年の役員名簿を見ると21人(女性4人)で、そのうち現役員として名を連ねている方が4人です。隔世の感があります。

昨年の総会には数名の元役員も出席され、恒例となりつつある「現役員と元役員との対談」も実施されました。昨年の総会には数名の元役員も出席され、恒例となりつつある「現役員と元役員との対談」も実施されました。

また、副会長の近江彰氏は「NPO秋田ふるさと応援団」の副代表で、元雄中バレー部主将。全国大会に出場する秋田代表の応援に声を援らします。時にはナマハゲに姿を変えて。

また、副会長の近江彰氏は「NPO秋田ふるさと応援団」の副代表で、元雄中バレー部主将。全国大会に出場する秋田代表の応援に声を援らします。時にはナマハゲに姿を変えて。

他 のふるさと会も同様だと思えますが、雄物川会(幹事)には男女ともいろいろな方々(引退、現役)がいます。理容関係、CA、保育園長、中学校長、看護師、警察官、消防士、居酒屋経営、保険代理店、三宅村の副村長等々。昨年、3冊目となる『酔いどれ天使の遺書』を上梓したのは司法書士の松井秀樹氏。みなさん明るく元気で、エブリコギはおりません。

他 のふるさと会も同様だと思えますが、雄物川会(幹事)には男女ともいろいろな方々(引退、現役)がいます。理容関係、CA、保育園長、中学校長、看護師、警察官、消防士、居酒屋経営、保険代理店、三宅村の副村長等々。昨年、3冊目となる『酔いどれ天使の遺書』を上梓したのは司法書士の松井秀樹氏。みなさん明るく元気で、エブリコギはおりません。

ふるさと会の人々
秋田のふるさと雄物川会
会員紹介

がんばれ! ふるさと出身力士

※平成30年1月場所現在の番付



時津風部屋
力斗 (横手市平鹿町出身)
西三段目五十五枚目
(平成30年1月場所 2勝5敗)

ケガはだいぶ良くなってきているので、怖がらず自分の相撲が取れるよう頑張ります。



時津風部屋
将豊竜 (横手市十文字町出身)
東三段目四十枚目
(平成30年1月場所 4勝3敗)

幕下が近づいてきたので、攻める相撲で勝ちを目指します。



式秀部屋
阿部桜 (横手市平鹿町出身)
西序二段八十八枚目
(平成30年1月場所 4勝3敗)

いつも応援していただきありがとうございます。稽古してきたことを発揮して、勝ち越しを目指します。

♀よこてfun通信 定期好読者数(2018年1月末日現在/6,806人)

首都圏横手市ふるさと会 連絡協議会からのお知らせ

各ふるさと会の本年度の総会を下記の通り開催致します。みなさまのご参加をお待ちしております。

◆東京大雄会	4月14日(土)
◆首都圏十文字会	7月7日(土)
◆関東地区大森町ふるさと会	7月29日(日)
◆東京かまくら会	9月8日(土)
◆さんない古里会	11月4日(日)
◆東京平鹿町会	11月11日(日)
◆首都圏増田会	11月18日(日)
◆秋田のふるさと雄物川会	11月25日(日)

本年は10月25日(木)~27日(土)の2泊3日で『ふるさと探訪』ツアーを予定しています!

平成29年度の横手市ふるさと納税寄附金額が

4億円を超えました!

応援
ありがとうございます!

横手城で行われた
雪詰め作業

本物の横手のかまくらをお届け!



横手市物産団体連絡協議会の企画により新たに作られたふるさと納税返礼品『神宿る雪』かまくら宅配便の発送作業を行いました。実際に水神様が祀られた本物の『横手のかまくら』の雪をお届けする、とても縁起のよい返礼品です。

平成29年度の横手市へのふるさと納税寄附金額が4億円を突破し、件数でも3万件を超えました。年度末には5億円前後まで伸びるのではないかと予想されます。前年度実績が約6500件、1億円超でしたので、大幅な増加となっています。ご寄附いただき横手市を応援いただきありがとうございます。今年度は、このよこてfun通信の紙面上でも紹介しましたとおり、インターネット上の受付窓口の増設や横手市物産団体連絡協議会の協力・連携等により返礼品の充実を図るなどの取り組みを進めてまいりました。これが一定の評価をいただいたものと喜んでおります。同時に、この貴重な財源を市の活性化のため、存分に活用させていただきます。

- ◎ 1位 お米
お米マイスター厳選というだけあって、とても美味しい。
◎ 安全な特別栽培米ということ、次回も頼みたいお米です。
◎ 2kgずつの小分け袋は鮮度を保てて助かるし、保存やおすそわけにも便利。
- ◎ 2位 リンゴ
酸味と甘味のバランスが良く、シャキシャキの美味しいリンゴでした。正直びっくりするほどの美味しさで、家族で争奪戦をするほどでした。
◎ 秋田のリンゴは初めてでしたが、大きくジューシーなリンゴにビックリ!とても美味しくいただきました。
- ◎ 3位 日本酒
◎ やわらかでほど良い甘味のあるお酒。
◎ 優しい口当たり、余韻の長さ、深い味わい。魚介との相性が抜群でした。



平成29年度(平成30年1月)までのお申込みで集計したベスト3と、寄附者様からいただいた声を紹介します。

【お知らせ】
災害支援寄附金【平成29年7月大雨】の受付を平成30年3月18日で終了させていただくこととなりました。1月末現在で521万円の寄附金が集まっており、改めて感謝申し上げます。被災者支援および復旧・復興事業への活用については、前回のよこてfun通信vol.10または横手市ホームページを参照ください。

横手市のふるさと納税は、『さとふる』『わが街ふるさと納税』『ふるさとチョイス』の3つのサイトからお申し込みいただけます。

お問い合わせ 横手市役所まちづくり推進部地域づくり支援課 TEL. 0182-35-2266 FAX. 0182-32-2611



横手黒毛和牛

サーロインステーキ (180g×3) 14,040円(税込)
リブロースステーキ (250g×2) 10,800円(税込)
モモステーキ (150g×5) 8,964円(税込)

食肉総合卸の(有)秋田かまくらミートでは、秋田で飼育されている牛・豚・鶏、加工品の中から安心・安全なお肉を厳選して取り扱っています。中でも横手黒毛和牛は脂のうま味とやわらかい肉質が特徴の逸品。

横手黒毛和牛をとろけるほど煮込んだ、極上のビーフカレーとビーフシチューも大人気!スパイスとして大雄産のホップを使用した、オリジナルの味わいをお楽しみください。



YOKOTEビーフカレー
YOKOTEビーフシチュー
(200g) 各850円(税込)

有限会社 秋田かまくらミート
横手市横山町3-16
TEL.0182-33-0291
(HP)http://www.akitakamakura-meat.com/

よこてのイチオシ



ホップの恵み (粉末20g/約90回分) 1,890円(税込)

ビールの主原料となるホップを自家栽培し粉末状にした『ホップの恵み』は、抹茶のような香りとすっきりとした爽やかな苦みが特徴。ポリフェノール、GABA、食物繊維など健康をサポートする7種類の成分が含まれています。お湯または水、牛乳に入れて飲むのはもちろん、ヨーグルトや味噌汁と合わせていただくのもオススメです。カフェインゼロで体にやさしいお茶を、日々の暮らしに取り入れてみませんか?



株式会社 秋田ヘルシー食産
ヘルシー横手事業所
横手市柳田12-11
TEL.0182-23-8533
(HP)https://healthy-hop-akita.jimdo.com/

このコーナーでは、横手市物産団体連絡協議会・加盟店商品を紹介しています。※横手市内販売価格を表示

読者プレゼント 1~4の商品をそれぞれ2名様にプレゼントいたします。

- ホップの恵み (20g入1箱)
◎提供/(株)秋田ヘルシー食産
 - 横手黒毛和牛 リブロースステーキ (250g×2)
◎提供/(有)秋田かまくらミート
 - 純米吟醸 まんさくの花 (720ml)
◎販売元/日の丸醸造(株)
 - 天の戸 純米大吟醸 45 (720ml)
◎販売元/浅瀬酒造(株)
- 【応募方法】①住所 ②氏名 ③年齢 ④電話番号 ⑤希望プレゼント番号(第1希望、第2希望) ⑥よこてfun通信の感想 ⑦横手の思い出を明記の上、下記までご応募ください。
◎官製ハガキでご応募の場合 〒013-0036 秋田県横手市駅前町1番10号 横手の魅力営業課「よこてfun通信 プレゼント」係
◎メールでご応募の場合 E-mail:yokote-fun@city.yokote.lg.jp 件名「よこてfun通信 プレゼント」
【個人情報の取り扱いについて】
◎応募ハガキで得られた個人情報は発送目的以外に利用することはありません。
商品はすべて提供先からの発送となります。お届け先情報のみ提供先へ通知させていただきます。
◎ご応募の受付・受理、ご当選の確認に関するお問い合わせにはお答えできません。
◎当選者は厳正なる抽選の上、決定いたします。発表は当選者様への発送をもって代えさせていただきます。
- 応募締切 3月20日(火) 消印有効

CHECK

横手市の物産&特産の最新情報を更新中!

横手のいいモノ、うまいモノを日本各地、世界各国の方に届けられるようフェイスブックを更新中

ぜひご覧ください!

横手市物産団体連絡協議会

